

運動会実行委員長を終えて

関 根 聡

早いもので運動会が終わってもう二ヶ月が過ぎた。運動会の直前はあれほど、運動会のことが頭から離れない日々を過ごしたが、終わってしまえばもう大分、前のことのように感じる。

今思い出すと僕が実行委員長に決まったのは、新学期が始まったばかりの4月だった。バスケット部の先輩を通して、ぶ厚いファイルがまわってきた。「これ園延からお前に。」これでもう決まりだった。そういえば去年、千福で前委員長の園延さんと飲んでいたとき「来年はお前やってよ。」「いやあ、そんなキャラじゃないですよ。」といった会話をした気もする。

とにかく一度引きうけてしまったら、もうその日からスケジュールは密で、あれよあれよといううちに動き出してしまった。その時期バスケット部では、G.Wに大会をひかえており、そのことで頭がいっぱいだったため、正直えらいものを引きうけてしまったと思ったものだ。

で、実際やってみると、少し様子が変わった。今だから言えるが最初はなんとかそつなくこなす、責任だけは、はたそうと思っていた。しかし仕事をしていて運動会を楽しみにして期待してくれている人がいたり、同学年の仲間が、自分以上

に熱くとりくんでくれたりするのを見るうちに、これは、絶対盛り上げないと、思うようになった。

当日は自分にとっては上出来だったと思う。朝は雨で、ちょっとヒヤッとしたが、その後は順調で参加人数や盛り上がりもなかなかだった。特に5年生の団結はすさまじく、競技では抜群の成績を残した。また、運動会の運営に関しては、さらにその上をいっていた。正直、最初はこいつはちょっと不安だな、と思っていた奴もいたが、始めてみると、それぞれが自分の仕事以上の働きをしてくれて、頼もしいかぎりだった。みんな自分達の学年が幹事学年だという責任感もあって、がんばってくれたと思うが、みんなに仕事を頼んだ僕としては、まるでみんなが自分をサポートしてくれているように感じ、えらく感動したものだ。とにかくこうして無事運動会も終わり、いい気分だけが残った。単純だなとも思うが、委員長をやらなければ感じるができなかった、さすがにいい人間関係を感じる事ができた。

どうも、まったりとして生活で、刺激が足りないという人。たしかに楽ではないかもしれないが、ちょっと新鮮な気持ちを味わってみたいければ、思いきって実行委員長をやってみては、と勧めたい。

第23回歯学祭のご案内

実行委員長 鳥山宏之



秋も深まる10月21、22日の両日、恒例の歯学祭が開催されます。

例年通り、学内では展示のほか、各学年による模擬店、バザー、軽音楽部のライブ、茶道部の茶会、おけき大会、学部講師による講演会など、多数のイベントが開催され、大和デパートでは無料歯科相談が行われます。

また、今年は新たに、学部内の各所に置かれた

スタンプを全部集めると豪華賞品が当たるというスタンプラリーを行う予定です。

さらに例年通り、学外の方による講演会も行われます。今年は「開運！なんでも鑑定団」でおなじみの、岩崎絃昌氏を招いて行います。講演では、西洋アンティーク評論家である岩崎氏による鑑定会も行われ、例年とは趣向の違った楽しい講演会になると思います。この機会を利用して、是非お手持ちのアンティークを鑑定してもらいましょう。

今世紀最後の歯学祭を是非、楽しいものにしませう。